

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年 3月20日

1. 意見陳述申込者

ふりがな
ご氏名年齢 34 歳 性別 男・女

ご住所 北海道旭川市

2. ご意見

川の利用者として、釣り人の視点から意見を述べたいと思います。

サンル川はご存じの通り古来から在来魚サクラマスが遡上する河川であり、全国的にも山女の名流として有名ですが、サンルダムが出来ることによって、その自然の営みが寸断されるのは明らかな話です。魚道を設置してもその遡上数は未知であり強い危機感を感じてます。

ここ数年、釣り人は釣りの対象魚を選ぶ際に複雑な環境下に置かれております。これまで釣りの対象魚としてきた虹鱒やブラウントラウトなどは外来魚として取り上げられ、環境省が策定中の特定外来生物被害防止法の指定種にはまだなっていないものの、道南ではすでに道によりブラウントラウトの駆除が行われるなど、在来魚保護、外来魚駆除という動きがあります。

もし仮に、これまで親しんできた虹鱒等が駆除され、在来種である山女はダム等の河川構造物によってこれ以上減ってしまったら、果たして釣り人は何を釣れば良いのでしょうか。

私は外来魚である虹鱒を釣りたい人間ですが、現在の社会動向を見ていると、自分の楽しみを続けるためにも、在来種であるサンル川の山女は守らなければいけないと感じております。外来魚は環境省に、在来魚は国土交通省によってその数を減らされる事に強い憤りを覚えます。

天塩川流域委員会の構成メンバーを見ますと、釣り人と同じ河川利用者であるカヌークラブの方は入ってますが、釣り人が含まれていないのが非常に残念です。

天塩川水系を訪れる釣り人は大勢いますし、全道、全国からも訪れているのを見えています。年間で一番川を見ている人間は釣り人かもしれません。河川水位や水温、雨後の濁り方、水棲昆虫、河畔林の様子などを常に見ている釣り人達の意見も参考にすべきではないでしょうか。

※上記のご意見記入欄が不足する場合は、本意見陳述申込書と併せて別紙で提出して下さい。